



TOHOKU ENGINEERING

総合建設コンサルタント

東北エンジニアリング株式会社



技術と対話、
地域コンサルティングで
未来を描く

WORKS

- ▶ 総合建設コンサルタント
- ▶ 測量調査・地質調査
- ▶ 補償コンサルタント

▶ 再生可能エネルギー

地域社会に 技術と誠意で 貢献する

i-Construction
UAV・3D
AI

建設コンサルタントの仕事

コンサルタント

調査
測量

設計

施工

メンテナンス

維持
管理

調査測量部門

- ▶ 地質・土質調査及び各種試験
- ▶ 基準点測量・地形測量・路線測量・用地測量
- ▶ GIS（地理空間情報・地理情報システム）
- ▶ 3次元計測（UAV・地上レーザースキャナ）
- ▶ 交通量調査・交通量推計・シミュレーション

補償コンサルタント部門

- ▶ 用地（土地）調査・評価
- ▶ 補償調査・評価
- ▶ 事業損失調査・評価
- ▶ 用地取得業務支援

公共事業を施行するには、土地を取得したり、建物等を移転したりする必要が生じ、国、地方公共団体等は正当な補償を行います。所有権や借家人等の関係人に生じる損失の補償やこれらに関連する業務を国、地方公共団体等の起業者から受注したり、請負ったりする者（法人又は個人）を補償コンサルタントといいます。「補償」とは、簡単にいいますと、この公共事業に係る土地取得代金や建物移転費用に当たります。

総合建設コンサルタント部門

- ▶ 一般土木
 - ・道路・河川・砂防
 - ・橋梁・構造物
- ▶ 農業土木
 - ・ほ場・水利施設
- ▶ インフラ老朽化調査及び長寿命化対策
- ▶ 地震・気象災害等の復旧支援
- ▶ 地域開発計画

岩手県・東北の
暮らしのために、
地域コンサルタントにしか
できないことを追求します。

地域コンサルタントとして。
ともに地域で暮らす者として。

私たち東北エンジニアリングは、地域とそこに暮らす人々にとってより良い社会基盤を提供することを目指す技術者集団です。

マニュアルを見ながら机上で考え設計するのではなく、地域の方々の話を聞き、地域と暮らしを見つめ、その地域にとって必要なオンリーワンのインフラストラクチャーの在り方を見つけ出すことを大切にしています。

気候、風土、暮らしを見つめ、岩手県・東北という地域の中で、地域コンサルタントだからこそできるもの、地域コンサルタントでしかできないものを地域に提供していくことを追求していきます。

地域で暮らす 地方で働く

公共事業の計画や設計を担っているのは、都会の大企業だけではありません。地域に暮らす者として、ともに暮らす地域のために、ともに暮らす人々のために働く職場が、ここに 있습니다。自らに住むこの地域を、自らの手でデザインする仕事と一緒に取り組んでみませんか。これまで学んできたいろいろなことを、思い入れのあるこの地域に役立ててみませんか。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



4 質の高い教育を
みんなに



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを

女性技術者の活躍

女性技術者も男性技術者も、同じ立場で活躍しています。性差を問わずスキルアップ・キャリアアップしていくことが、会社の発展や業界全体の活性化にもつながると考え、女性も働きやすい環境づくりに努めています。

中高生勉強会への協力

高校生を対象とした岩手県の道路インフラメンテナンス勉強会に協力したり、中学校の体験型現場学習会のドローン体験操縦等に協力したりしています。また、インターシップにて、職業体験の場を提供しています。

環境負荷低減への取組み

環境負荷の低減を目指して、本社社屋の屋上には太陽光発電設備及び蓄電設備を備え、社屋の消費電力のほぼ半分を賄っています。また、太陽光発電所4箇所の経営に参加しています。

安全安心のまちづくり

まちづくりに携わる企業として、道路や施設を設計する際には、利用者を第一に考え、安全で利便性の高いものを提案するよう努め、みんなが安心して暮らせる「安全なまちづくり」を目指しています。



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナースhipで
目標を達成しよう

つくる責任

事業の最上流にある設計業務における小さなミスが、事業全体の大きなミスにつながります。ミス撲滅のため、発注者の仕様書に基づく照査と併せて、社内照査審査を行い、業務成果の品質向上に努めています。

災害対応

参加する協会等を通して、東北地方整備局、岩手県などと災害協定を締結し、災害が発生した際の準備を整えています。また、日頃からUAVの訓練を実施するなどして、被災地調査の緊急出動に備えています。

パートナーシップの構築

さまざまな協会や団体に所属して、それぞれ、スキルアップ研修や意見交換会、調査研究活動など、組織全体で技術の向上と業界の活性化を目指して活動しています。

東北エンジニアリングは、SDGsの趣旨に賛同し、
様々な活動の場面で取り組みを行っています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

INTERVIEW

どんな人たちと
仕事がしたい？

執行役員 技術部長
野場 稔 部長
NOBA MINORU

執行役員 用地部長
工藤 由次 部長
KUDOU YOSHIJI

Q1 どのようなスキル、経験が必要ですか？

私達の仕事に興味を持つことさえできれば、必ずしも専門の学部や学科を終えている必要はありません。技術者が評価されるのは、学校の単位ではなく客観視される資格と技術的な応用能力です。したがって継続的な学習が必要ですが、大丈夫、自分がやるんだという気概と仕事への興味があれば、仕事をしながら自ら学んでいただけます。

Q2 会社の成長にはどのような人が必要だと思いますか？

技術者の成長は会社の成長に直結します。この仕事・この会社を選ぶなら、「私達の仕事の内容が好きで人にきて欲しい」と思っています。技術者は、人によって違うんですね。成長する時期が。それは、20代であったり30～40代であったり。何かのヒントを得て自信のきっかけをつかんだ時、数年でエックと思うくらい成長します。

Q3 自社にはどのような強み、魅力がありますか？

河川・道路・橋梁の設計や農地計画・ほ場整備・林地開発など、領域が広いことが自社の特徴だと思っています。これは会社の経営的な強みである一方で、技術者の選択肢が広がりが魅力的な事だと思います。特定分野のスペシャリストを目指すことも、あるいは様々な領域から広い知識を身につけることも良いでしょう。自分の適性に応じて方向性を見出すことが可能です。

PROFILE

趣味

仕事をしていない時は、釣りをしています。年中釣りを楽しんでいます。

未来の社員に一言

仕事は好きでやればほとんど吸収していくので、好きな仕事を選んでやって欲しいです。

Q1 どのようなスキル、経験が必要ですか？

用地補償という部門では、主に公共事業に伴って土地を取得する為に、価値補償の積算業務を行っています。基礎となる部分は建築工学や測量などいろいろありますが、それらの組み合わせによって、1つの「用地補償コンサル」というものを形成しています。どなたが来ても、興味さえあれば一緒にやっている分野だと思っています。

Q2 会社の成長にはどのような人が必要だと思いますか？

業務を行うにあたっては様々な資格が必要になってきます。資格を取得していないと、現場の代理人として業務を行うことができないからです。また、資格は取得したら終わりではありません。学んで、経験して要件を満たさなければ更新ができないのです。この分野に携わる人には、ステップアップする為の取り組みを継続して欲しいと思います。

Q3 自社にはどのような強み、魅力がありますか？

用地補償に関する学問を教えている学部というのは今のところありません。当社の用地補償という部署では、学校で習っていること以外のことをやっています。通常のコンサルではできない部分をやっているのが強みだと思います。同じ形態の業務は二つとありませんから、経験した業務を応用しながら次の業務へと活かしていきます。

PROFILE

趣味

実家が農家なので、山菜取りに行くのがすごく好き。

未来の社員に一言

興味のある部門がたくさんあると思いますので、技術系の建設コンサルとか補償コンサルだけにとらわれずに興味をもって頂きたい。

『若手』に インタビュー！

R4年中途入社
技術2課
仙台支店勤務
中條 淑さん



勤務地は盛岡と仙台的2択。和やかな雰囲気にも魅了され、
将来の設計図が見えた。

新卒で入社した会社は建設コンサルでした。建設の仕事自体は好きだったのですが、勤務時間や一緒に働く仲間との関係性などに苦しみ、大学時代のバイト先であった飲食店に転職。店長代理として数年働いていましたが「やっぱり建設の仕事がやりたい」と思い立ち、再出発を決意。僕の実家は宮城県の大北にあるので、何かあったときの帰りやすさも考慮して、勤務地を岩手と宮城の2つに絞って探しているなかで当社を見つけた。「職場の雰囲気が明るそうだな、いいな」と思い会社見学に来たところ、若手先輩社員さんが3名くらいいらして、そこでお話を聞くことができて。「こなら長く勤められそう。楽しそう」と思ったのを機に志望しました。

一人前の技術者になりたい。業務にまっすぐ向きあい、
先輩方のいいところを吸収する日々。

冗談交じりの話や、真面目な話など、コミュニケーションにも緩急があるので、相談や質問しやすい環境です。今やっている仕事は初めて扱うGISを使った業務で、自分で調べながら、聞きながらの繰り返しで覚えていきました。定時になると毎日上司が声をかけてくださるので、そこで進捗報告をしたり、疑問点を解消するようにしています。あとは、若手出張が多く移動時間が長いので、そこでノートに書き溜めた質問を上司に投げかけています。技術士の資格を取るために、与えられた作業にしっかり向きあうとともに、周りの先輩方の動きからも学ぶことがたくさんあるので、それぞれの良いところを吸収しながらどんどん成長していきたいです。

働くなら、岩手に貢献できるほうが楽しめる気がした。

就活をする際、どんな仕事したいのかが定まっておらず悩んでいました。ただ、岩手で育ったこと、大学も岩手だったこともあり「働くなら岩手のことを考えていたい」という思いは漠然とあって。当時大学で農業土木を学んでいたので、そこに近い分野でのお仕事がないかということも含めて、ゼミの先生に相談しました。そのときに「こなら大学の先輩も働いているから安心できると思うし、学んできた分野も活かせるかもしれないよ」と東北エンジニアリングを紹介して頂いたのがきっかけで今があります。今はまだ部分的な作業を担当することが多く、充足した達成感を味わうことはないのですが、他部門の先輩が「地図に残る仕事をしているのが誇らしい。地域に残るものを創っていくのが嬉しい」と言っていたのが、心に残っていて。「私もこの先、地元貢献しながら、先輩みたいな気持ちになれるのかな？」と思うと胸が高鳴ります。

手厚い支援が、向上心を高めさせた。

技術士の試験を受けるとき、先輩方から「ここがポイントだよ」「この本が分かりやすくておすすめだよ」などとアドバイスを頂けたので、試験勉強にも身が入りました。過去問集を会社負担で購入して頂いたり、試験会場までの交通費や受験費も出して頂いたことも本当にありがたかったです。普段の業務でも、部門の垣根を超えて勉強会をすることもあり、自分の部門内だけに偏らずコミュニケーションを図れるので、相談もしやすく、良い距離感でお仕事ができているように感じています。

R4年入社
技術2課
小野 寺香子さん



R3年入社
技術1課
大島 匠未さん



大手企業より地元の中堅企業の方が、自分らしくいられる気がした。

僕は学生時代、土木関連を専攻していました。そこで学習した知識を活かせるのは総合建設コンサルタント業界だと思い、大手のインターンシップに参加していました。首都圏の現場の空気感に触れてみて、時間と心のゆとりを保つのが難しいのではないかと感じる場面があって。良い給料を貰うことも大事だけれど、自分の私生活を大切にしつつ働けた方が幸せな気がして、県内就職にシフトチェンジをして仕事を探している中でこの会社に出会いました。業務によって繁忙期はあるものの、忙しくないときはサクッと帰って、映画を観たり音楽を聴いたりしています。自分の時間を持って息抜きをすることって、仕事を続けていく上でやっぱり欠かせないことだと思いました。楽しみやご褒美があるので、仕事に専念できるんですね。

家族がいる県内で働いていく、ということ。

自分が近くにいた方が県内にいる両親も安心できるのでは、という思いもあって。職場全体として、育児休暇や介護休暇を取りやすい雰囲気もあるので、将来のことを考えると安心できます。そういえば、母が近所の方から「息子さんが近くにいて良かったね」と言われているのを聞いたことがあって。自分の趣味に費やせる時間も確保できて、家族のもとへすぐに駆けつけられる距離感にいることが僕にとってベストな環境でもあるし、家族もそう感じてくれていたら嬉しいですね。

いろんな偶然が重なって、今の居場所がある。

僕は建築学部出身なんです。就活のとき、建築関係の会社だと勘違いしたまま連絡してしまっ、その時求人担当の方に「うちは土木だからあなたのイメージとは違うと思うけど、用地部の補償コンサルでも大学の知識を活かせるよ」と教えて頂いたことがきっかけでした。また父方の実家が盛岡にあり、そこから通える範囲で就職先を探していたのと、奨学金返済支援制度の取り組みもあったので、迷わずここを志望しました。実際に働いてみて、何もなければ定時過ぎには帰れるので、毎日ジムに通ったり、趣味のスノーボードの板のお手入れをしたりしています。自分の時間を確保しやすいので、仕事と私生活にメリハリがでます。好きなことをやりながら、こっちで楽しく祖母と暮らしているので、沿岸にいる両親たちも安心していると思います。

先輩や上司の一言が、エネルギーの源。

達成感を感じるときは、2〜3週間かかる図面の算定が終わったときですかな。まだ次の工程があるのですが、こうして小さな喜びを拾い集めながら、仕事に取り組んでいます。あとは図面を描き終わったときに、上司が「描いてくれて助かったよ」と声をかけてくれるのがとても嬉しいです。そのちょっとした一言がモチベーションに繋がっています。身近に自分の頑張りを評価してくれる先輩方がいるので、頑張れています。

R3年入社
技術管理課
八幡 大聖さん



やりたかったことが、この街でも叶えられた。

学生時代はプログラミングやサーバー構築関係、WEBアプリ開発などを学んでいました。県内に住む祖父父兄のもとへすぐに駆けつけられるよう、岩手県内に絞って仕事を探していました。僕は情報を扱う作業が好きだったので、サーバー関係の仕事を探していたのですが、各社の募集内容を見るとHPや動画作成、ソフトウェア開発等の業務が多い印象で。当社を見つけたときは、迷わず応募しました。サーバー管理の他に、交通量調査業務にも携わりました。自動車の型や交通量から情報を獲得してデータを整理するという作業で、5万人という膨大なデータだったのが初めは怖かったのですが、そういう仕事も楽しくて。この仕事で、県の事務局長賞を受賞したんです。その業務に携われたことも嬉しかったですね。

見えなかった不安も、この環境が消し去ってくれた。

入社前は、土木コンサルということで「どんなことをやるんだろう？」と業務のイメージが浮かばなかったことと、自分の技術不足がどんな程度なのかも分からなかったこともあり、不安と心配を抱えていました。また、先輩方と仕事をする上で無礼のないように振舞えるかどうかとも自信が持たなくて緊張していたのですが、入社してみると思いのほか皆さんフレンドリーで、仕事も丁寧に教えてくれるので、肩に入っていた力もふっと抜けていきました。

新卒採用の
離職者

0人/5年間

残業時間

17.9時間/月^{*}平均

有給休暇
取得率

11.4日/年^{*}

* 総務・営業部門を除く生産部門の、課長級以下の社員の2023年度実績

良
好
な
ワ
ー
ク
ラ
イ
フ
バ
ラ
ン
ス
を
実
現
!

	計	うち 院卒	うち 四大卒	うち 短大卒	新卒者等の 離職者数
2024年度	1名	0名	1名	0名	0名
2023年度	2名	1名	1名	0名	0名
2022年度	2名	1名	1名	0名	0名
2021年度	3名	1名	1名	1名	0名

新卒等の採用状況

勤務条件・待遇

勤務時間 8:30～17:30 (休憩時間60分)

完全週休二日制 (土、日、祝 休み)
年末年始休暇 12月29日～1月3日
計年間122日以上

休日・休暇

ほか年次休暇 / 病気休暇 / 結婚休暇 /
生理休暇 / 育児休暇等 各種有給休暇あり

諸手当

資格手当 / 職務手当 / 家族手当 / 住居手当 /
通勤手当 / 時間外休日勤務手当等

働きがいと
働きやすさを
実現!

賞与 年3回 (R05実績平均計5.2ヶ月)

昇給 年1回

福利厚生 健康保険 / 厚生年金 /
雇用保険 / 労災保険等

受動喫煙
対策 本社内屋内完全禁煙
(敷地内別棟に喫煙所設置)

新卒初任給
(基本給
諸手当含まず)

院卒 …………… 22万9000円
4大卒 …………… 22万0000円
短大
専門卒 …………… 21万1000円

充実した研修制度

- ✓ 新入社員のための入社前・入社時研修
- ✓ 新入社員を対象とした自動車教習所での安全運転研修
- ✓ 社員が講師を務める毎月の定期技術研修
- ✓ 社外講師を迎えての特別技術研修
- ✓ 技術士などの資格取得のための社内研修
- ✓ 先輩社員が指導する日常研修
- ✓ その他各種社内外講習会等

スキルアップを
積極的に支援!



資格を 持っている 先輩社員 一覧

技術士 21名

総合技術監理 …………… 6名	農業土木 …………… 3名
道路 …………… 4名	鋼構造及びコンクリート …………… 2名
河川・砂防及び海岸・海洋 …………… 2名	森林土木 …………… 1名
土質及び基礎 …………… 3名	

RCCM 26名

農業土木 …………… 3名	施工計画 …………… 1名
道路 …………… 8名	森林土木 …………… 2名
土質及び基礎 …………… 2名	地質 …………… 1名
河川・砂防及び海岸・海洋 …………… 4名	建設環境 …………… 1名
鋼構造及びコンクリート …………… 4名	

農業土木技術管理士 …………… 10名
農業用ため池管理保全技士 …………… 5名
土地改良補償業務管理者 …………… 21名
土地改良補償士 …………… 6名
畑地かんがい技士 …………… 1名
農業水利施設機能総合診断士 …………… 4名
一級土木施工管理技士 …………… 19名
二級土木施工管理技士 …………… 7名
一級造園施工管理技士 …………… 1名
一級建築士 …………… 1名
二級建築士 …………… 6名
林業技士 …………… 16名
農業農村地理情報システム技士 …………… 2名
補償業務管理士 …………… 19名
測量士 …………… 31名
測量士補 …………… 19名

岩手県内地域コンサルタント
会社の総受注高

岩手 第1位

岩手県内地域コンサルタント
岩手県発注業務受注高

岩手 第1位

東北管内地域コンサルタント
東北農政局発注業務受注高

東北 第1位

確固たる
経営基盤を実現！

2023年度実績

国土交通省ウェブサイト内の建設関連業の登録業者に関する情報提供システムにおける「建設コンサルタント」ファイルのデータから、当社が独自に集計したものです。

出典

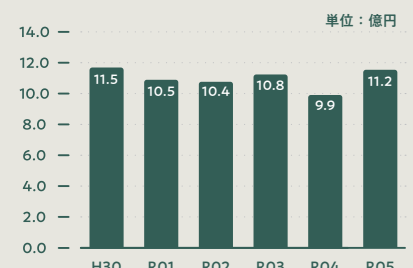
令和5年の主な業務実績

6月	仙台市教育局	仙台市立片平丁小学校校舎及びプール並びに仙台市片平児童館増改築工事に伴う周辺建物等事前調査業務委託
6月	岩手県県南広域振興局 農政部北上農村整備センター	農村地域防災減災事業 岩手11期地区(北上管内その2)ため池耐震診断調査業務委託
7月	岩手県県土整備部 道路環境課	一般県道繋温泉線ほか 繋大橋ほか橋梁点検業務委託
7月	岩手県県南広域振興局 農政部農村整備室	経営体育成基盤整備事業 四ツ屋地区第4号境界 測量業務委託
7月	岩手県盛岡広域 振興局土木部	一般県道雫石東八幡平線 網張地区地質調査業務委託
7月	岩手県県北広域振興局 農政部二戸農林振興センター	基幹水利施設ストックマネジメント 事業瀬月内ダム地区第1号 実施設計業務委託
7月	東北地方整備局 南三陸沿岸国道事務所	南三陸管内設計業務
7月	東北地方整備局	UAV被災状況把握調査 【被災状況調査班(河川②)】 (秋田県八峰町)
8月	岩手県沿岸広域振興局 土木部岩泉土木センター	国境の沢8筋国境地区砂防堰堤 測量調査設計業務委託
9月	東北農政局 岩手山麓農業水利事業所	岩手山麓農業水利事業幹線用 水路等管理設備設計業務
10月	東北農政局 北上土地改良調査管理事務所	岩手山麓農業水利事業北部 主幹線用水路管理図等作成業務



昭和49年創業
揺るぎない
信頼と実績

H30～R05の受注高推移





総合建設コンサルタント

東北エンジニアリング株式会社

私たちは、社会基盤整備を通して、地方創成、強靱かつ環境にやさしい
魅力的なまちづくりに取り組み、SDGsの実現を目指しています。



〒020-0121 岩手県盛岡市月が丘二丁目8番12号

TEL : 019-656-0821 FAX : 019-656-0822

Web : <https://www.te109.co.jp/>

支店 / 仙台・秋田

営業所 / 花巻・北上・水沢・一関・大船渡・釜石

岩泉・久慈・二戸



本社生産部門